

化学/繊維/金属部会主催 産業技術総合研究所中国センター一見学会報告

山口県 化学部門

伊藤 由実

化学/繊維/金属部会副部長



広島県 金属部門

川本 明人

化学/繊維/金属部会幹事



1. はじめに

2024年9月6日（金）、広島県東広島市鏡山の国立研究開発法人 産業技術総合研究所中国センター（以下、産総研中国センターと記す）の見学会を実施した。

参加者は、当部会（8名）、（機械（2名）、情報工学（1名）、電気電子（1名）、環境（1名）、建設（1名）の部門会員、秋田県支部化学部門（1名）、**総数 15名であった。**



写真-1 産総研中国センター玄関前集合写真

2. 産総研中国センターの概要¹⁾

- ・環境と経済の両立を指向し、「グリーンサステイナブルケミストリー」を理念とする。
- ・第5期中長期計画では、「循環型社会の実現による社会課題の解決」を目指す。
- ・研究の実施組織である機能化学研究部門が「材料診断技術」、「ナノセルロース技術」、「バイオものづくり」の3つのコアコンピタンスで、化学材料（特に、樹脂・ゴム・バイオ系材料など）の機能性や信頼性の向上、化石資源からバイオ資源への原料転換、サプライチェーンや製造プロセスの最適化、および樹脂リサイクルなどによる循環経済への転換を促進する研究開発に取り組んでいる。

3. 見学内容(概要)

施設案内（説明）は正副研究部門長 4 名の方々が担当された。はじめに、研究部門長から産総研中国センターにおける機能化学研究部門の活動について紹介された（約30分）。その後、施設見学は2グループに分かれ実施された

（約2時間）。まず、開発商品展示室で中国センターにて開発された商品の説明を受けた後、

①「材料診断技術」に関する評価分析・解析装置（ナノ赤外分光分析装置 [AFM-IR]、X線CT、直接イオン化質量分析 [DART/MS]、原子分解能分析電子顕微鏡、小角X線散乱 [SAVXS]、ケミルミネッセンス等）、

②「バイオものづくり」に関する実験室やタンパク質構造シミュレーション等の研究設備、

③「ナノセルロース技術」に関する有機・バイオ材料製造装置群（4軸押出機等）を見学させていただいた。

見学後、施設の製造装置群、評価分析解析に関する意見交換会が行われ、材料診断技術によるプラスチック・リサイクルの高付加価値化等について活発な質疑応答が行われた。

4. おわりに

今回の見学会は、昨年、当部会講演会でご講演いただいた、産総研中国センター長の佐藤様よりご提言をいただき実現できた。見学会後のアンケートでは、参加者の平均満足度が5点中4.9点と大変高い評価であった。この度を機に、産総研中国センターとの交流を発展させたい。

1) : <https://www.aist.go.jp/chugoku/>